

6月定例会 一般質問要旨



本市における地域包括ケアシステムの現状と今後について



太田クラブ 八長 孝之

議員 可能な限り、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる体制づくりのために、地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、地域で高齢者を支えるための担い手の確保や育成の現状について伺います。

健康医療部長 地域で支え合う体制づくりを進めるために、各地域に配置された生活支援コーディネーターを中心に、地域の助け合い活動の発掘、担い手の確保や育成に取り組んでいます。



議員 本市においても高齢者人口の増加が見込まれる中、身寄りのない人や虐待、貧困、認知症高齢者の増加等、地域が抱える問題も複雑化していますが、

本市における高齢者福祉施策のさらなる充実について、市長の所見を伺います。

市長 地域で高齢者を支えると言いますが、核家族化が進んだ現代では、地域だけに頼るのは難しいと考えます。また、これまでは1人暮らし高齢者に注目し、施策を打ち出してきましたが、これからは高齢者のみ世帯、いわゆる老々世帯までターゲットにした施策が必要な段階に入ったと考えています。

議員 要介護高齢者の増加、介護従事者不足等、介護を取り巻く状況は厳しさを増す中で、本市における地域包括ケアシステムの推進について所見を伺います。

市長 今後1人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯のさらなる増加が見込まれる中で、全てを地域に任せることはできないと考えます。介護事業者によるサービスに加え、各地域に配置しているふれあい相談員、それから市職員のマンパワーを活用することで、地域全体を支える体制づくりを考えていきたいと思っています。



放課後児童保育の運営状況について



創政クラブ 高田 靖

議員 本市の放課後児童クラブの保育料は最大で7,000円もの差があるようですが、その理由を伺います。

福祉子ども部長 クラブによって運営内容や保育時間等のサービス内容が異なることや、運営者が社会福祉法人、保護者会等さまざまであり、職員の人件費に大きく差が出るなどがあります。

議員 繰越金が多いクラブに対する対応について伺います。

福祉子ども部長 昨年度より、公設民営のクラブに対して余剰金の会計繰り入れを指導し、改善を図りました。また公設・民設にかかわらず、繰越金が多いクラブには市の補助金を停止しています。今後も保育料の減額等に充てるよう指導を行い、繰越金を削減したいと考えます。

議員 放課後児童クラブの利用に関し、悩みを抱える保護者のため、相談窓口の拡充や周知が必要と思いますが、所見を伺います。

福祉子ども部長 各クラブで設置してい

る要望、苦情等の受付箱について周知します。また、市ホームページや担当課へ寄せられた相談内容は運営者と連携しながら解決を図り、保護者とクラブの信頼関係の構築に努めたいと考えます。

議員 市として指導を行い、放課後児童クラブの保育料の統一化を図るべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 放課後児童クラブは地域の中にほとんど選択肢がなく、ある意味での独占状態となっていますので、年内に協議し、来年の4月には新しく保育料の設計を行っていききたいと思います。



■その他の質問

・持続可能な下水道事業について



本市の都市計画に対する進捗状況及び課題、並びに今後の展開について



創政クラブ 長 ただすけ

議員 令和2年12月に太田都市計画が変更となり、飯塚東矢島地区等が市街化区域へ編入されました。これにより税収や関係人口の増加が見込まれる一方、道路整備が今後ますます重要になると考えます。本市が地域の要望に対応すべく実施している巡回舗装について伺います。

都市政策部長 市内を15地区に分けて、3年に1回、各地区を舗装の補修の重点地区とし、地元からの要望に基づいて、ある程度規模の大きい舗装の補修や、砂利道の簡易舗装を行っています。

議員 都市計画の推進状況については、一番身近な道路整備等を通じて市民に判断されます。今や道路の部分的な補修だけでは、市民のニーズに答えられていない状況ですので、現状の対応とは別に、時期を決めて大規模な改修を行うべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 以前、(株)SUBARU矢島工場前の道路の全面改修を行ったように、重量のある車の通行が多い道路は重点的に

舗装することが大事だと思います。加えて、予算と人員を調整し、3年に1回の巡回舗装を徹底して行っていきたいと考えます。



議員 飯塚東矢島地区の近隣には市民会館や運動公園があり、新市民体育館の建設が予定されることから、交通渋滞の悪化が考えられます。新たな道路整備が必要と思いますが、所見を伺います。

市長 市で土地を買い上げて道路を造ることは想定していませんが、開発事業者に対し、道路の拡幅や機能の向上を要望していきたいと思っています。

■その他の質問

・地産他消の推進とブランディング化について



長楽寺境内の枯れた蓮池について



創政クラブ 高木 きよし

議員 数年前に発生した長楽寺境内の蓮池の水枯れに関して、当時の状況と実施された対策について伺います。

行政事業部長 世良田小学校内の井戸から蓮池へ水を引いていましたが、井戸水が枯れて蓮池の水枯れが発生したことから、歴史公園内に新たに地下30mの井戸を掘り、池の水位を元の状態に戻しました。工事費は734万4,000円です。

議員 昨年ごろから再び蓮池の水位が低下し、枯れてしまったようです。この原因と対応について伺います。



行政事業部長 井戸の設備を点検したところ、配管内や水中ポンプの内側に鉄分、マンガン成分が堆積して詰まり、流入

量が減少したと判明しました。6月8日に水中ポンプの交換と、詰まった配管の清掃を実施し、現在は池の水位が回復するよう、井戸水を注入しています。

議員 地殻変動や近郊の土地の区画形質の変更等により、地下水位が低下していると思われます。今後も繰り返されるであろう蓮池の水枯れに対する抜本的な対策が必要であり、例えば池底に遮水シートを張り、水の地下浸透を防止する工法が考えられます。補助率50%である「歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業費国庫補助」を活用する良い機会と思いますが、市長の所見を伺います。

市長 補助事業の利用については担当課で協議すると思いますが、交換したポンプで間に合えば、それで十分と考えています。現在少しずつ貯水していますので、元の環境に戻るよう、状況を見て次の対応を図っていききたいと思います。

■その他の質問

・特定用途制限地域の見直しについて